



環びわ湖大学コンソーシアム
平成21年度県民向け公開講座

受講料
無料

近江のいまむかし

近江考

滋賀県に立地する

13大学の教育研究成果に

広く県民の方に触れていただく機会として

それぞれの個性と知的資源を生かした

公開講座を開催します。

平成21年

10月31日(土)

11月7日(土)

11月14日(土)

午後1時30分～午後4時20分
(2部構成)

草津市立市民交流プラザ大会議室

〒525-0059 草津市野路1丁目15番5号 フェリエ南草津内5階
TEL 077-567-2355 FAX 077-567-2357



定員 100名(先着順)

対象 一般県民の方・どなたでも

申し込み方法 ハガキ・電話・ファックス・メールで受け付けます。住所・氏名・年齢・電話番号・E-mailアドレスと、ご希望の受講日をお知らせ下さい。

募集期間 平成21年9月7日(月)～10月26日(月)
ただし、先着100名様とさせていただきます。

申し込み・問い合わせ先

〒522-8533 彦根市八坂町2500

環びわ湖大学コンソーシアム公開講座運営委員会事務局
(滋賀県立大学地域づくり教育研究センター内)

TEL 0749-28-8210 FAX 0749-28-8473
E-mail chiiki_grp@office.usp.ac.jp

主催
環びわ湖大学コンソーシアム

滋賀大学・滋賀医科大学・滋賀県立大学・滋賀短期大学・滋賀文教短期大学・
成安造形大学・聖泉大学・長浜バイオ大学・びわこ学院大学・びわこ成蹊スポーツ大学・
立命館大学・龍谷大学・放送大学滋賀学習センター・滋賀県

プログラム

日程および講座の概要

	月 日	時間	講 師 ※敬称略	テ ー マ ・ 概 要
第1回	10月31日 (土)	13:30)	成安造形大学 附属近江学研究所	テーマ「 近江の歴史と文化の特性 」
		14:50	所 長 <small>きむら よしひろ</small> 木村 至宏	近江の豊かな歴史と文化を構築している要因については、三つの存在が考えられる。それは日本最大の湖の琵琶湖、四周を取り囲む比叡山・伊吹山などの美しい山々、湖と山の間の平野部を結びあう東海道や中山道をはじめとする諸街道である。その特性の内容をスライドを併用しながら探る。
第2回	11月7日 (土)	15:00)	滋賀大学教育学部	テーマ「 中世近江の道と商人 」
		16:20	教 授 <small>う さ み た か ゆ き</small> 宇佐見隆之	東海道、東山道、北陸道の出発点でもあった近江国を道の国と呼ぶ人もいる。近江と道の関わりは非常に深い。近年、「東海道東海道ではなかった」という説も登場し、近江の道は注目を浴びている。道を旅した人々、そして近江商人の原点とも考えられる商売で往来した人々をみることから近江という国の特徴を明らかにしていきたい。
第3回	11月14日 (土)	13:30)	滋賀県立大学 環境科学部	テーマ「 滋賀の自然史 」
		14:50	准教授 <small>はまばた えつし</small> 浜端 悦治	古代湖の一つとしても数えられる琵琶湖は、多くの生物種を育み、生物多様性の視点から重要であるのみならず、1400万人の上水源としての役割も担っている。しかもその集水域では古くから人間の営みが行われており、人と自然との共存のバランスのとれた例として世界的に見ても貴重な存在となっている。本講座では、琵琶湖とその集水域、そして人間活動の変遷を明らかにし、琵琶湖と人間との望ましいあり方を考える。
第3回	11月14日 (土)	15:00)	龍谷大学短期大学部	テーマ「 近江商人と宗教倫理 」
		16:20	教 授 <small>くぼた かずみ</small> 窪田 和美	近江商人を経済活動に駆り立てた精神的な支柱は、宗教とりわけ仏教信仰であった。彼らが最も忌避したのは、手段を選ばず利潤を追求する態度である。だから現代社会こそ近江商人の経済活動が、評価されるべきである。その要因をいくつか提示したい。 さらに、戦後活躍したひとりの近江商人を取り上げ、彼の企業家でありながら、真宗篤信者としての生活態度を紹介する。閉塞感の漂う現代こそ、目覚めの宗教である仏教の倫理観を再確認したい。
第3回	11月14日 (土)	13:30)	びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部	テーマ「 滋賀県のスポーツの今・昔 - 国体、そしてマスターズ・全国スポレクを活かす -」
		14:50	准教授 <small>たにがわ なおみ</small> 谷川 尚己	昭和54年に開催された全国高校総体と昭和56年の国民体育大会(びわこ国体)をひもとき、28年ぶりに開催された全国スポーツ大会のマスターズ2007、全国スポレク祭(スポレク滋賀2008)を紹介し、滋賀県の今後の生涯スポーツのあり方について提言します。 特に、滋賀県の生涯スポーツ振興計画である「スポーツデザイン2010」に沿って、いかに県民の豊かなスポーツライフを構築していけばよいのでしょうか。今年度開催を計画された「滋賀県民総スポーツの祭典」や41クラブが設立された総合型地域スポーツクラブの現状等を含め、検証していきます。
第3回	11月14日 (土)	15:00)	びわこ学院大学 短期大学部	テーマ「 近江の近代学校成立史 」
		16:20	専任講師 <small>みやさか ともゆき</small> 宮坂 朋幸	日本の小学校は、明治5(1872)年に文部省が頒布した「学制」によって、全国で設立されはじめる。しかし、このような中央の法令を待って学校を設立した地域ばかりではない。京都、長野、岐阜に加え、滋賀でもこれらに先行する学校を作り、地域独自で新しい時代に即した教育体制を整えようとしていた。本講座では、滋賀における近代学校の成立過程について、「学校」と「教員」に注目しながら考察していく。

環びわ湖大学コンソーシアムとは

滋賀に立地する13の大学が、「知の結集による地域貢献－新たな魅力の創造と発信－」をテーマとして相互に連携し、産業界、行政、住民など広範な連携ネットワークを形成し、さまざまな連携事業を実施することにより、滋賀にある大学として存在感のある個性輝く大学づくりを目指すとともに、地域社会の発展に貢献することを目的としています。

環びわ湖大学コンソーシアム公開講座運営委員会事務局

(滋賀県立大学地域づくり教育研究センター内)

〒522-8533 彦根市八坂町2500

TEL 0749-28-8210 FAX 0749-28-8473 E-mail chiiki_grp@office.usp.ac.jp